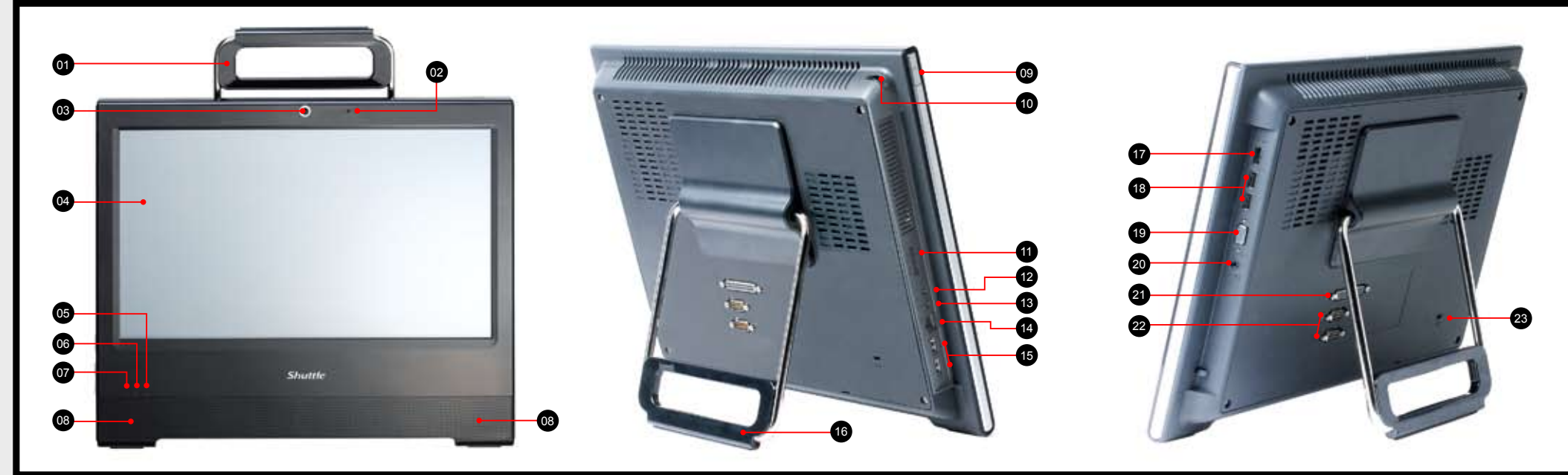




### 前面/背面/側面 各部説明

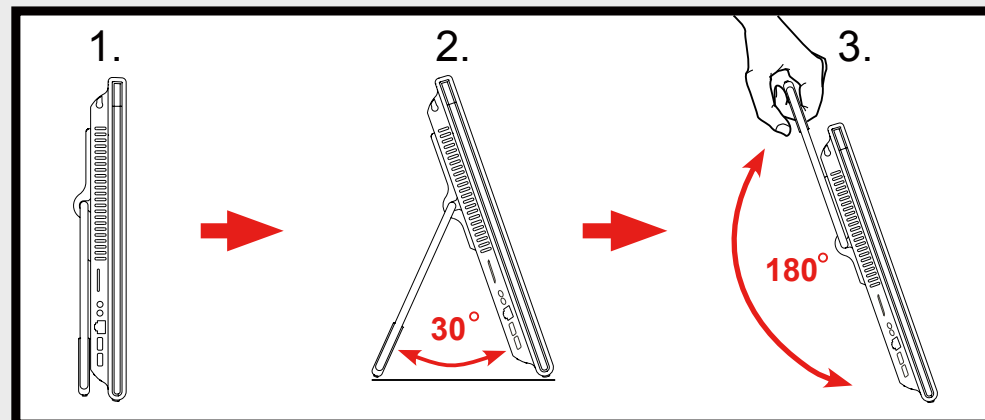


- |                                      |                       |                       |
|--------------------------------------|-----------------------|-----------------------|
| 01 スタンド / ハンドル                       | 09 電源ボタン              | 17 HDMI ポート           |
| 02 マイク                               | 10 スタイラスペン            | 18 USB 2.0 ポート        |
| 03 ウェブカメラ                            | 11 4 in 1 メモリーカードリーダー | 19 VGA ポート            |
| 04 LCDディスプレイ (シングルタッチ/ノンタッチ) (オプション) | 12 マイク入力端子            | 20 DCIN 接続部           |
| 05 WiFi LED                          | 13 イヤホン / オーディオ出力端子   | 21 プリンターポート (オプション)   |
| 06 ハードディスクドライブ LED                   | 14 LAN ポート            | 22 COM ポート (オプション)    |
| 07 電源 LED                            | 15 USB 2.0 ポート        | 23 Kensington® ロックポート |
| 08 ステレオスピーカー                         | 16 スタンド / ハンドル        |                       |

### X50V3 本体の置き方と運び方

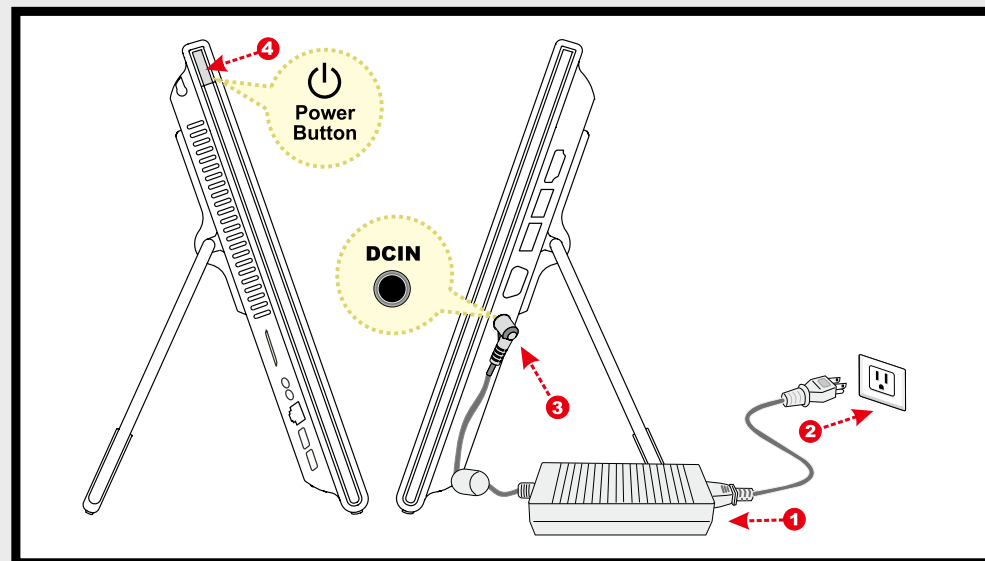
- X50V3 の置き方、及び運び方は以下の手順を参照ください:

X50V3 本体を、テーブルのような平面の場所に置き、本体を片手で支えながら、図 1 のように X50V3 を立ててください。スタンド/ハンドルを取り出し、図 2 の状態になるように本体を立ててください。すると、使用しやすい快適な角度に調整することができます (図 2 を参照)。X50V3 を運ぶ、または、移動させる際には、図 3 のようにスタンド/ハンドルを本体上部までもっていき、スタンド/ハンドルが安定した状態を確認し、持ち上げて運んでください。



### 電源の入れ方

- 以下の図にある電源接続のステップ 1 ~ 3 に従い AC アダプターと DCIN ジャックに接続してください。確認後、④ の Power Switch を押してください。



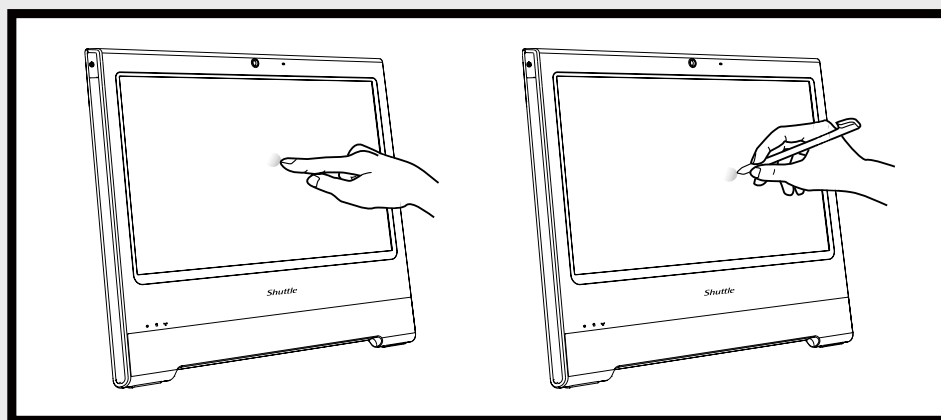
### スクリーン のクリーニング方法

- 以下の手順で、コンピュータ画面をクリーニングしてください:  
本体の電源を切り、本体に接続しているすべてのケーブルをはずしてください。  
湿気を含み、汚れのない、やわらかく、糸くずの出ない布を使って、やさしく本体画面の表面をふき取ってください。  
画面へ、直接、液体状のスプレーをかけないでください。

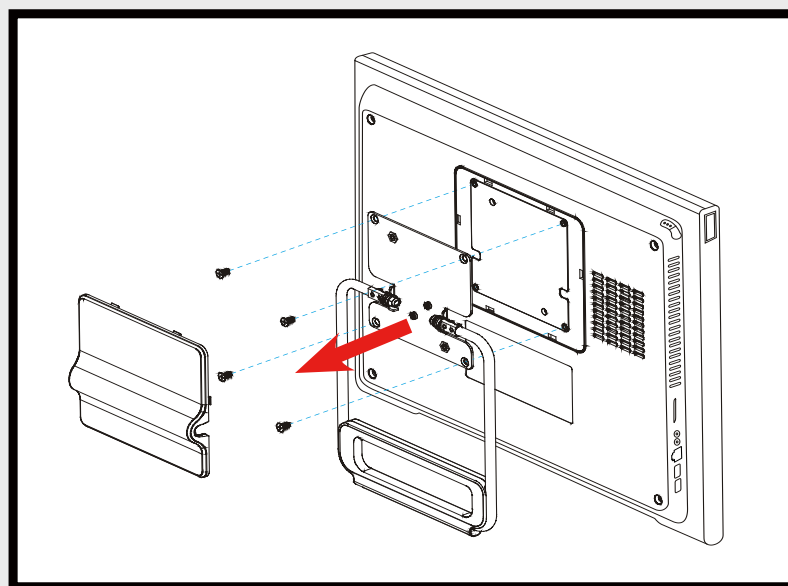
### タッチパネルの使い方 (オプション)

- X50V3 は、簡単なタッチパネル機能を搭載しており、デジタルライフを味わうことができます。数回、画面をタッチする、または、スタイラスペンを使用することで、デジタルライフが身近なものになります。X50V3 は、画面にタッチすることで、マウスの役割もする楽しい機能も備えています。

- タッチ = マウスの左クリック
- タッチして止まる = マウスの右クリック



### VESA をウォールに取り付ける場合



- X50V3 をウォールに取り付ける場合、X50V3 背面についているカバーを取り外します。スタンドを固定している4つのネジを取り外して、スタンドを外します。通常の VESA 規格であれば簡単にウォールへ取り付けることができます。取り付ける前にウォールやアームの取り付けキットの説明書をご参照ください。

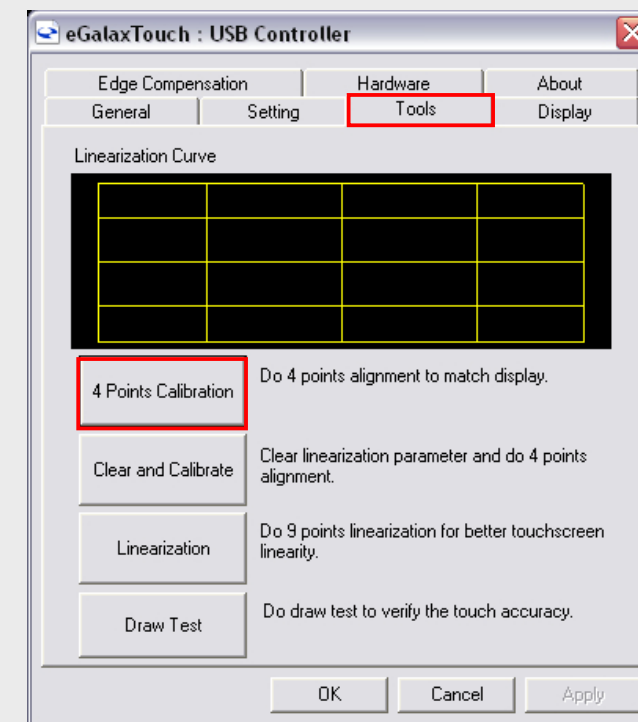
注: X50V3 は、VESA 互換 100mm x 100mm ウォール/アームブラケットを使用すると取り付けられます。

### 4 Points Calibration について (オプション)

- X50V3 は、screen calibration program を使うと、スクリーンパネルで正しい 4 ポイント校正をすることができます。

スタートボタンをクリック、すべてのプログラム  
→ eGalax Touch  
→ Configure Utility  
の順で開いてください。

その中にある Tools タブを選択、4 Points Calibration をクリックします。



### セーフティーインフォメーション

Shuttle X50V3 をセットアップする前に、以下の注意事項をよく読んでください。

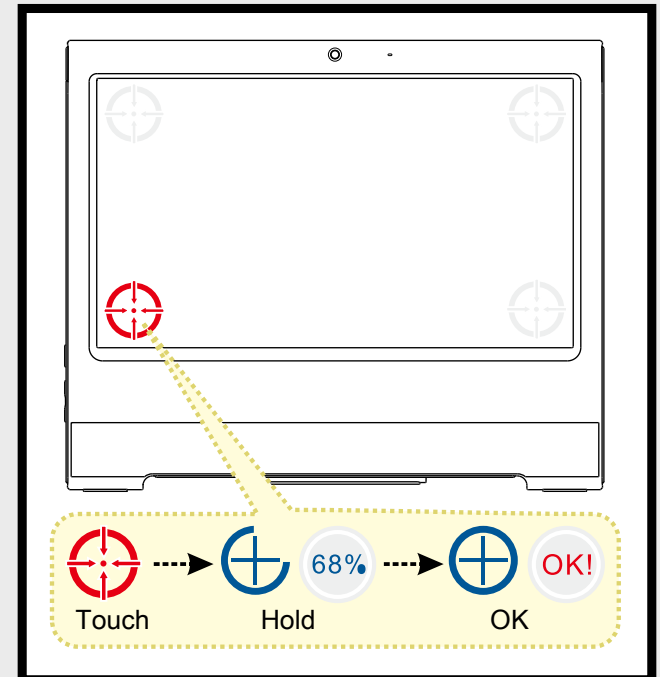
#### 注意

電源ケーブルを踏まないようにしてください。  
製品を分解及び改造された場合は、保障対象外となります。お気をつけ下さい。

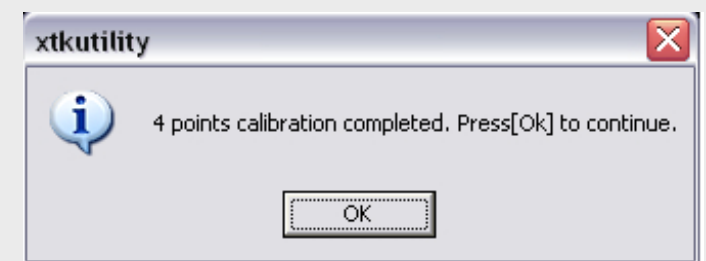
#### 注意

バッテリーの設置を誤ると、暴発の危険があります。  
設置の際は、生産者の指示通り、同製品の使用を推奨します。

- ターゲットの中心をタッチし、押さえてください。  
四隅繰り返し返してください。すると、画面が自動的に調整します。



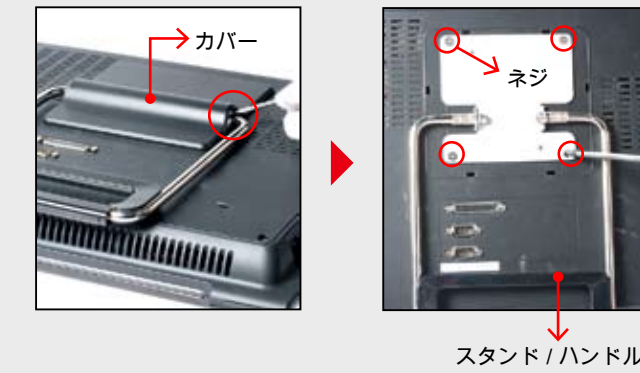
- 4 Points Calibration を完了後、画面上の OK ボタンを押す。



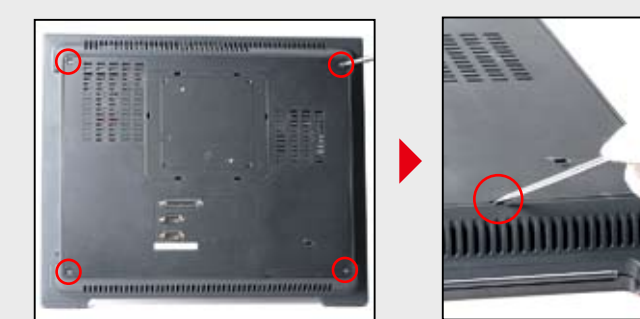
### A. 組み立てを始める

- 安全上、ケースを開ける前に必ず電源ケーブルを抜いて下さい。

- X50V3 背面についているカバーを取り外します。スタンドを固定している4つのネジを取り外して、スタンドを外します。

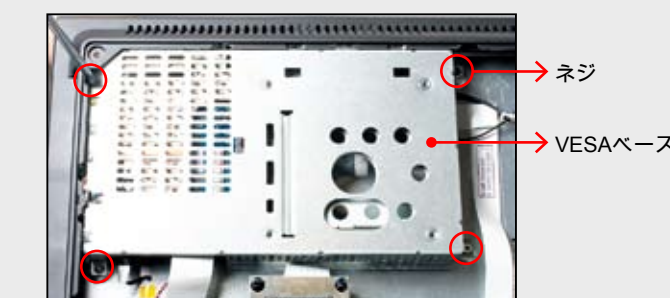


- 背面にある4つのネジを外して、カバーをはずします。

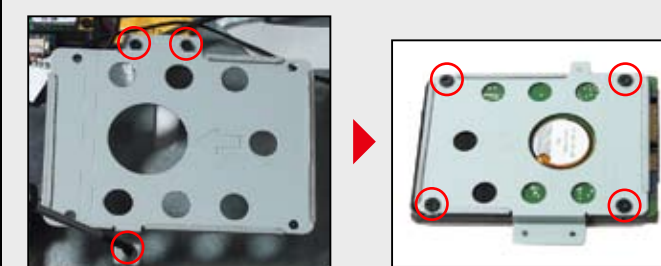


### B. HDD の取り付け

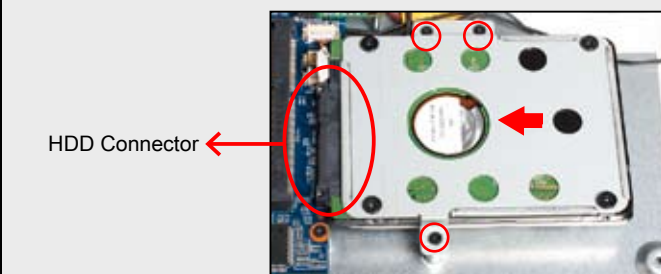
- VESA ベースを固定している4つのネジをはずして、VESA ベースをはずします。



- 3つのネジを外して、ブラケットをはずします。
- HDD をブラケットに取り付けネジを 下図の通り締めます。



- 下図の通りブラケットを取り付けた HDD を本体にある HDD コネクタへ矢印の方向へ押し入れます。
- ブラケットを取り付けた HDD をネジで締めます。

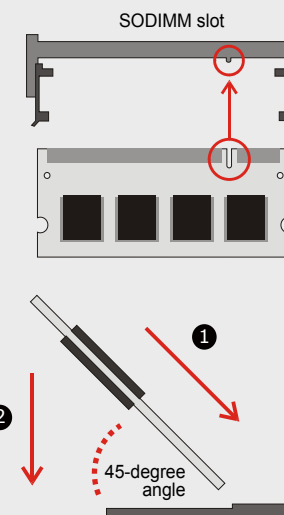


### C. メモリーの取り付け

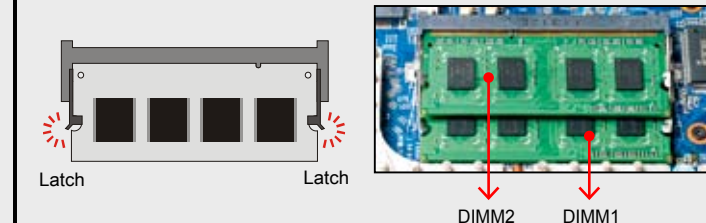
- システムにメモリーモジュールを1基のみご利用の場合は、"DIMM2" スロットに挿して下さい。

- SODIMM にメモリーを取り付けます。
- 下図の通り、切り欠けに合わせます。

- メモリーを45°の角度から押し入れます。



- 挿し入れた後に、メモリーを倒すように押し込むとロックがかかります。
- 必要に応じて、追加の DDR モジュールを繰り返し取り付けます。

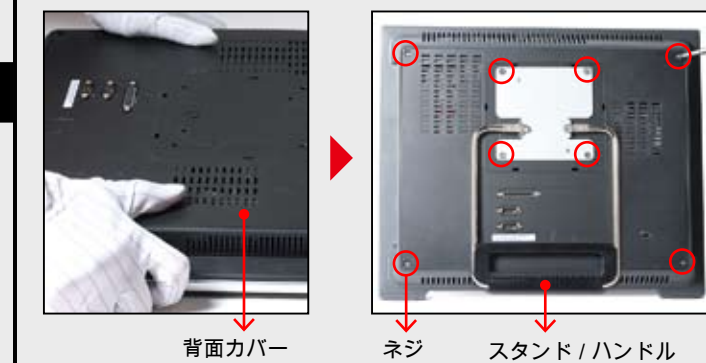


- VESA ベースを元に戻し、4つのネジを締めます。



### D. 完成

- 背面カバーとスタンドを元に戻し、8つのネジを締めます。



- カバーを元に戻して完成です。

